

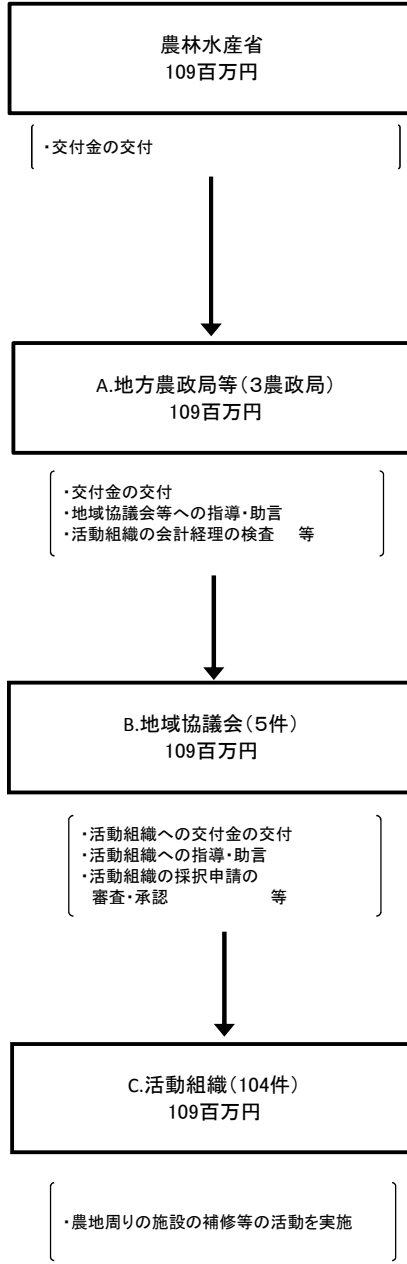
平成24年行政事業レビューシート (復興庁、農林水産省)

事業名	農地・水保安全管理支払交付金 (復興関連事業)		担当部局	復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 農林水産省農村振興局整備部農地資源課農地・水保安全管理室		作成責任者	復興庁参事官 尾関良夫 農地資源課長 瀧戸淑章	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成25年度		担当課室					
会計区分	一般会計・東日本大震災復興特別会計		施策名	①農村の集落機能の維持と地域資源・環境の保全				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	食料・農業・農村基本計画(平成22年3月30日閣議決定) 土地改良長期計画(平成20年12月26日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災で被災した農地・農業用施設の復旧については、多くは災害復旧事業等で対応している一方、農地周りの施設について、小規模な損壊や、応急手当により通水したが十分な機能回復なされていない水路なども多数存在。こうした地域において、地域が主体となって、農地周りの施設の補修等に取り組む活動を支援し、もって農地・農業用施設等の機能を保全。 ※平成24年度以降は、復興庁で一括計上し、予算執行は農林水産省で実施。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災の被災地域において、軽度被災を受けた農地周りの水路の補修等に取り組む集落に対して、地域協議会等を通じて支援。助成水準は、取組面積に応じて、水田4,400円/10a、畑2,000円/10a、草地400円/10a(国:1/2、県、市町村:各1/4)等。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	617(農水省計上)	-	629(復興庁計上)	746(復興庁計上)
		繰越し等	-	-	△483	483	-	-
		計	-	-	134	1,112	746	
	執行額	-	-	109	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	81%	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)	
	農地・農業用水等の保安全管理に係る集落等の協定に基づき地域共同活動を行う参加者数	成果実績	万人・団体	-	-	191(200)	200	
		達成度	%	-	-	96%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	被災地域における水路の補修等施設の復旧活動の取組面積	活動実績 (当初見込み)	万ha	-	-	0.7 (3)	- -	
単位当たりコスト	1,521(円/10a)		算出根拠	執行額(109百万円)/活動実績(7,175ha)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	復旧活動支援交付金	629(復興庁計上)	746(復興庁計上)	被災地域の集落における事業実施に向けた合意形成の成立等に伴う増				
	計	629	746					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	関係者等との調整に時間を要したため不用率が大きくなった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	取組初年度であり、取組開始までに時間を要したため、成果実績及び活動実績について目標(見込み)を下回った。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本交付金は、農地・水保全管理支払交付金の枠組みを活用して農地周りの水路の補修等に取り組むものであり、平成24年3月末現在、岩手県、宮城県、福島県、千葉県、新潟県に位置する16市町村において行われる水路310km、農道113km、ため池12箇所の補修等の取組を支援することとしている。</p> <p>平成24年度は、地域のニーズに基づき、農地周りの施設の補修等に取り組む地域への支援を継続するとともに、我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画(食と農林漁業の再生推進本部決定、平成23年10月25日)に基づき、震災に強い農林水産インフラを構築するために、被災地において、農地・農業用水等の資源の保全管理等を円滑に実施するため、集落を支える広域的な保全管理体制を構築する取組に対して支援することとしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業は、活動指標について、23年度当初見込みを下回っており、この事業の活動が効果的に活性化するような一層の工夫が必要である。また、23年度予算執行率も81%と低い。以上のことから、「活動が活性化するような支援方策の見直し」、「執行額と予算額の乖離の改善」を行うべきであり、本事業としては「一部改善」とする。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	<p>本交付金については、被災した農地周りの水路等の地域共同による復旧活動に加え、被災地における活動組織の広域化・体制強化への追加的な支援などの「活動が活性化するような支援方策の見直し」を行っている。</p> <p>また、実施状況を踏まえ、都道府県からの要望額を精査し、「執行額と予算額の乖離の改善」に努めているところ。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○事業仕分け第1弾(農地・水・環境保全向上対策(前歴事業))</p> <p>・事業番号・事業名:3-69小規模農家に配慮した補助金(2)農地・水・環境保全向上対策</p> <p>・WGの評価結果:予算要求の縮減(1割程度+事務費削減)</p> <p>・とりまとめコメント:農地・水・環境保全向上対策については、自治体の判断が1名、予算要求の縮減が9名となった。縮減の内訳は、2割縮減1名、1~2割縮減1名、1割縮減4名、中山間地域と一本化し事務費削減1名、であった。当WGとしては、本体部分について予算を1割削減すると同時に事務費コストも縮減、ということでもとめる。</p> <p>・対応結果:平成22年度当初予算について、事務費以外については12%の削減。また、事務費については40%の削減。(いずれも平成21年度当初予算比)</p> <p>○会計検査院の検査報告(農地・水・環境保全向上対策(前歴事業))</p> <p>・指摘内容:資金の有効活用を図るとともに、活動組織の繰越額の使途について、透明性を確保するよう改善の処置要求。</p> <p>・対応状況:資金の有効活用を図る観点から、地域協議会の資金残高について、平成21年12月に今後の資金需要を改めて把握し、平成23年度末に資金残高が生じないよう平成22年度予算において、78億円減額して199億円を計上。また、活動組織の繰越額の使途について透明性を確保する観点から、平成21年11月2日付けで、地方農政局等に「会計検査院の処置要求に対応した農地・水・環境保全向上対策実施要領の一部改正について」を発出し、活動組織から地域協議会に対し、繰越額の使用予定の報告を行うよう指導した。</p> <p>(参考)農地・水保全管理支払交付金ホームページ  <a href="http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/nouti_mizu/index.html">http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/nouti_mizu/index.html</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	222	平成23年行政事業レビュー	0156、新0033

※平成23年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)



A.東北農政局			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
復旧活動支援 交付金	地域が主体となった農地周りの施設 の補修等を支援	106			
計		106	計		0
B.岩手県地域協議会			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
復旧活動支援 交付金	地域が主体となった農地周りの施設 の補修等を支援	99			
計		99	計		0
C.あしろ農水保全組合			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
委託費	安代土地改良区(復旧支援活動交付 金に関する事務)	2			
次年度繰越	水路及び農道の補修を予定	11			
計		13	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

## 支出先上位10者リスト

### A.地方農政局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北農政局	復旧活動支援交付金の交付	106		
2	関東農政局	同上	3		
3	北陸農政局	同上	0.2		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

### B.地域協議会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手県農地・水・環境保全向上 対策地域協議会	活動組織への交付、指導・助言、採択申請の申請・承認等	99		
2	福島県農地・水・環境保全向上 対策地域協議会	同上	5		
3	千葉県農地・水・環境保全向上 対策協議会	同上	3		
4	宮城県農地・水・環境保全向上 対策地域協議会	同上	2		
5	上越市農地・水・環境保全協議 会	同上	0.2		
6					
7					
8					
9					
10					

### C.活動組織

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	あしろ農水保全組合	協定に基づく活動を実施	13		
2	山後資源保全組合	同上	5		
3	荒木田農地・水保全管理組合	同上	3		
4	平館環境保全会	同上	3		
5	新田環境整備組合	同上	3		
6	両沼環境保全組合	同上	3		
7	南寄木資源保全組合	同上	3		
8	舞川地域遊美保全隊	同上	3		
9	五百森資源保全組合	同上	3		
10	北寄木環境保全組合	同上	3		